学校だより

よりよく生きる

～時を守り　場を清め　礼を尽くす～

発行 2025年(令和7年)5月
第3号
発行責任者　駅家中学校長

だんだん気温が上がってきました。水分をとりましょう。

あれだけ寒かった日々はどこへ･･･気がつけば汗をかく季節になってきました。風邪をひきやすく、体調を崩しやすい時期ともいえます。しっかり水分をとり、元気で勉強する日々にしていきたいです。また、明日から春季総体、６月６日は文化祭と大きな行事が近づいてきました。そんな時は一つひとつけじめとメリハリをつけて取り組むことがそれぞれに成果を出すために必要なことだと思います。

こんなことがありました①「つばめの来校」

駅家中学校にはつばめがよくやってきます。北校舎３Ｆには過去に作った大きなつばめの巣があります。また、北校舎２階には新たにつばめの巣を作ろうとしているため、日々作らせないよう対処しています。つばめは可愛らしいですが、枝や糞等を廊下に落としてしまうため、困りの種でもあります。

ある日一羽のつばめが３Ｆから入り込み,４Ｆの封鎖された階へ入り込み出ることができなくなってしまいました。発見した２年生の男子生徒は近くにいた山田先生を呼び、「どうにかならないか。」と問い合わせます。「屋上の扉を開ければそこから逃げることができるかもしれない。屋上の鍵を持っているのは教頭先生だ！教頭先生を呼ぼう！」かくして、教頭先生が屋上の扉をあけると、うまくそこからすーっと逃げることができました。そのつばめの姿を見た２学年の男子生徒たちはガッツポーズ、歓声をあげ、抱き合う姿も。日常の中でふと見られる生徒の心の暖かさ、やさしさでした。「よりよく生きる」上で、このような優しさはとても大切ではないかと思います。

こんなことがありました②「来校者への丁寧な対応」

先日午後に来校者が２名来られました。第１声は「駅家中学校の生徒はすごいですね。」と嬉しそうに伝えてくださいました。２人が玄関に到着した際、ある生徒が元気よくあいさつをしてくれたそうです。その後、２名分のスリッパを取り出し、「校長室はこちらです！」と案内してくれたそうです。その一連の流れに感動されたそうです。職員一同とても嬉しく思いました。たとえ思ったとしても行動化することは難しいことです。よいと思うことを堂々と行動化できる、そんな素敵な姿が今後もたくさん見ることができたらと思います。

こんなことがありました③「ユニセフの募金について」

ある生徒がユニセフの募金を学校に持ってきてくれました。特に学校で募集していたわけでもありません。驚くとともに、このような自発的なよい行動ができることが素晴らしいと思いました。そこで、期間を決め、「駅家中学校には自らユニセフに募金をしようと行動ができる生徒がいます。みなさんも１円でもかまいません。もし募金をしようと思ったら朝職員室へ持ってきてください。」という取組を行いました。結果数人の生徒がさらに募金をしてくれました。我々教員発信ではなく、生徒の行動から取組が生まれ、広げていくことができました。

衝撃！メディアコントロール集会

５月 21 日、東北大学の榊先生を迎え、本日２校時に東北大学の榊（さかき）先生をまねき、脳科学から考えるスマホと学習の関係について講演を行っていただきました。データに基づいた様々な話に、生徒も教職員も驚きながら話を聞いていました。参加してくださった保護者のみなさま、ありがとうございました。是非おうちの方でもスマホ（メディア）との付き合い方について一緒に考えていただけたらと思います。

「なんとなくよくないんだろうなぁ」の「なんとなく」が明確になった講話でした。以下要点をまとめてみました。

・スマホやゲームをしている時、脳の前頭前野が働いていない。

※前頭前野は、額のすぐ後ろ、脳の前にある領域で、「脳の中の脳」とも呼ばれる、人間の脳における高度な精神活動を司る重要な部位です。記憶、感情の制御、行動の抑制など、様々な働きに関わっています。

→もちろん、スマホやゲームをしていても脳は動いています。しかし、思春期で大きく発達する前頭前野がまったく働いていないという研究結果は衝撃でした。とくに長時間スマホやゲームで過ごしている生徒と、その他の過ごし方をしている生徒では中学校の３年間でどれだけの差がついてしまうのか･･･

・スマホやゲームを一日４時間以上する生徒（長時間使用する生徒）は成績が伸びない。たとえ睡眠や勉強時間をしっかり確保していたとしても･･･

→スマホやゲームを長時間していたとしても、しっかり睡眠時間や勉強時間を確保していれば成績は伸びそうなものです。しかし、データに基づいた分析から「成績は伸びない」と明言されていました。スマホやゲームをしている時間、脳の前頭前野が働いていないということもあるのですが、前頭前野が記憶、感情の制御、行動の抑制等を司っているとすれば、日々の５０分の授業を集中する、家で自分なりに目標を立ててコツコツと勉強する、学校において共感的な姿勢で友達と学習を進める等、成績があがるために必要なプロセス全てに関わっているのではないかと思います。

・スマホで子どもは脳が育たない、大人は脳が衰える。

我々大人にとっても他人事ではありません。大人は脳が衰えるという結果が出ています。もはや日常の中でなくてはならないものになったスマートフォンですが、大人も子どもも付き合い方を考えていくことが重要です。

☆メディアコントロール強化週間の実施☆

６月１１日（水）の定期テスト１週間前から、テストが終了する２０日（金）まで、このたびのメディアコントロール集会を受け、スマホやゲームから距離を置きテスト勉強を頑張る期間とします。どのように距離を置くかは人それぞれだと思いますが、大切なことは「自分で決めること」です。甘くなりすぎないよう、かつ現実的な目標設定ができたらと思います。講話の中で「子どもだけでは難しい。大人の協力が必要」という一説もありました。お家の方で生徒の様子を見守ってくださったらと思います。

とあるクラスの取組

メディアコントロール集会後「自分ごと」と題し、自分で自分を律するための決まりを考えてみませんか？？と投げかけフォームで回答を募る取組をしています。
以下回答を一部を紹介します。みなさんも考えてみませんか。

・使用時間を決めて、時間になったら見ないようにする。
・夜の１１時以降はスマホをつつかない。
・定期テストで決まった点数を取れないとスマホは没収
・夜の１０時以降はメディアにふれない。食事や学習のときは、スマホをつつかず、集中して取り組む。

今後も科学は進歩し、スマホ以上の何かが誕生することも予想されます。大切なのは道具を使う我々の心の持ちようです。みんなで意識していきたいです。